

基本構想(修正)

目次

……………P2

市長あいさつ
三豊のまちづくりビジョン(体系図)

第1編 計画策定にあたって

1章 総合計画とは

1. 計画の位置づけと役割
2. 計画の構成と期間
3. 計画の進め方

2章 社会の動向

1. 都市部への人口集中
2. 安全・安心な暮らしへの関心の高まり
3. ライフスタイルの多様化
4. 情報化社会・先端技術の急速な進化

3章 三豊市の概況

1. 地勢と気候
2. 人口
3. これまでのまちづくり
 - (1) 三豊のあゆみ
 - (2) 市民の声(子ども・市民アンケート実施結果)
 - (3) まちづくりカフェ(市民会議)

第2編 基本構想

1章 まちの将来像

2章 基本方針

3章 基本目標

4章 まちづくりマップ(ゾーニング)

ワン みとよ
「One Mitoyo」

～心つながる豊かさ実感都市～

新市発足以来、地域で築き上げられてきた歴史や伝統文化に育まれた市民の力で、まち全体に豊かさやにぎわいがあふれる郷土がつくられてきました。

一方で、首都圏への人口集中や出生数の低迷がもたらす人口減少や人口構造の変化は、今後の私たちの生活に大きな影響を与えかねません。

このような中、未来に向かって持続・発展するまち三豊を実現させるためには、市民の皆さんと一丸となり、「総力戦」で挑み続けるほかありません。

10年後、さらにその先の「未来」のこの地で、子ども達が自由に夢を描き、叶えることができる“豊かさ実感都市”を、「今」を生きる私たちみんなの手でつくっていきましょう。

人口目標

63,500 人^{プラス}※+

(平成30年5月現在の人口)

人口が増えるまちには、豊かさが生まれ、人が集まり、育ちます。さらには、財源の確保につながり、多様なニーズや変わりゆく社会情勢にも迅速に応えられるまちをつくるのが可能となります。

減少する人口予測を受け入れる縮小思考では、未来に持続・発展し続ける三豊の実現は遠のきます。

そこで、今の人口数を維持、あわよくば増加という高みを目指し、勢いあるまちづくりに挑んでいきます。

本市には、各地に個性ある地域性や地域資源が存在しています。限られた財源の中で、これらを最大限に活かしたまちづくりを進めるためには、市域全体を俯瞰し、各施策の重点的実施エリアを、地域の特性に合わせて選択すること(ゾーニング)が必要です。

さまざまな分野でのゾーニングが全て重なり合うとき、ひとつのまちづくりマップが完成し、各施策における実施エリアの「選択と集中」によって、個々の魅力がさらに磨かれたまちを目指します。